

三木市特定教育・保育施設評価 評価結果報告書

園名（ 一粒園保育所 ）

	評価基準	評価内容
1	心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳から5歳の幼児の環境については、個々の子どもが課題に主体的に取り組めるように細かな配慮がされており、生きる力の基礎を育む教育・保育を実践している。 ・ モンテッソーリ教育を基本方針として、一人一人の子どものニーズに合わせた教材を活用し、自ら課題に取り組む姿勢が子どもたちの間に育っている。 ・ 子どもたち同士が異年齢でかかわる取組もされており、思いやりの心が育っている。 ・ 集団生活の中で、何かを作り上げていくような協同的な活動を取り入れ、社会性を培う教育・保育の充実に努めていただきたい。
2	異年齢集団での遊びや生活を通して社会性を培う教育・保育	
3	自尊感情を育むとともに豊かな人権感覚を養う教育・保育	
4	小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校との定期的な連絡会に参加し、小学校への円滑な入学に向けて連携している。
5	教育・保育の内容の保護者への説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「入園のしおり」に基本方針を明示するとともに、年に6回母親教室を実施し、教育理念・基本方針の説明及び情報提供・相談活動を行っている。 ・ 0～3歳児については連絡帳で保護者と日常的な情報交換を行っている。保護者アンケートからも信頼関係が構築されていることがわかる。

6	保育教諭の資質向上のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年間研修計画を策定し、職員に求める基本姿勢・専門性、研修の目的・方法を明示し、計画に基づいた研修が実施できている。
7	施設の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全管理は、徹底できている。 ・自衛防災責任組織表を作成し、各担当者を明示している。火災・地震・不審者対応についてのマニュアルを作成し、回覧研修を行うとともに、毎月訓練を行い、周知を図っている。訓練の後には検討会をし、記録している。
8	地域の子育て拠点としての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放はできているが、参加者は少ない。地域に積極的にかかわり参加者を増やすとともに、相談支援事業についても実施することが望ましい。
9	地域において子育て支援を行う団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・区長を通して、園の行事のお知らせを地域の掲示板に掲示している。 ・市内で配布されている「かるがも通信」(ボランティア活動プラザみき「かるがも編集局発行」)に教室や行事・園庭開放をしていることを掲載し広報を行っている。 (平成26年度)